

新春展示
「吉川英治の『吉野村だより』」

組
指
字
万
り

考盤村だより

また一ツ年終を越へたが、実はずは、幾ッになつて、自分は大人になつた氣がして来ない。心といふのはなうまじい、か、薄くさい。御養やう植氣のうぢ、どうにも、かうに、脱けされぬのである。こゝから二歳づつ割りになつか、それにしても五十七と数へられぬに――と、人に話ると、なあに、おれがさうだ。男はみんなそんな着うし、いと短くても仕舞ひして居る、缺つきには足える。うかなあと思つて、安心してゐると、時々、大人あつたことを悟るのでそのたびは荷重と載じめる。

自分の、今の、これが一人前の大人だとして、人間成人なんて、まことに、あてにできない危お事なものだと思ふ。

植物などは、五十七年と極つと、木でまぐろでも、魚でも、草でも、風雲だけで、実に

孝聖村だより

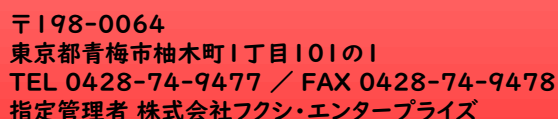
冬^{フユ}の^ノ月^{ツキ}、家の裏で、そここの物をあつめ
て、焚火^{ヒナ}をや^スる。これは、都合^{ツグバツ}笠沱^{カサヅツ}の人の又
しくおれ^レての^ノ日^ヒあ^ハた^ハお^ハれ^ハお^ハ。焚火^{ヒナ}にあたり
ながら村^{ムラ}の衆^{タガ}のほ^ハなし^ハに^ハさ^ハす^ハ。お^ハつと^ハ教^シへ^ハ
れることもな^ハか^ハく^ハ多^ハい。衆^{タガ}を^ハ炎^ヒに^ハあ^ハり
お^ハり^ハながら^ハ大^{オホ}多^タ摩^マ堂^{ドウ}笠沱^{カサヅツ}の^ノま^ハだ^ハ、雪^{ユキ}を
見^ミる^ハ空^{ソラ}に^ハ眺^{ノゾ}み^ハぬ^ハく^ハな^ハど^ハば、衆^{タガ}の^ノ髪^{カミ}で^ハあり、
生命^{セイメイ}の^ノ香^{カウ}う^ハであ^ハる。
そして^ハお^ハれ^ハは、焚火^{ヒナ}にあ^ハた^ハると、幼^コい^ハ頃^{キタマ}の思^{オモ}
ひ^ハあ^ハり、い^ハつと^ハ突如^{ツツジツ}のや^ハうに、お^ハう^ハくと^ハ件^{ケン}
ぢ^ハうと^ハ馳^{ハシ}け^ハけ^ハる。お^ハの^ノ焚火^{ヒナ}は、この^ノ正^{セイ}
月^{ツキ}の^ノ衆^{タガ}は、お^ハの^ノ衆^{タガ}の^ノ衆^{タガ}など^ハ、
この^ノ屋外^{ウツガイ}の^ノ衆^{タガ}後^ゴ同^{ドウ}で^ハ課^カに^ハあり、よく
話^{ワタ}す^ハま^ハせ^ハて^ハま^ハつ^ハた^ハした^ハ。

和をいぢへん
大人あつかひに
するの法、
讀



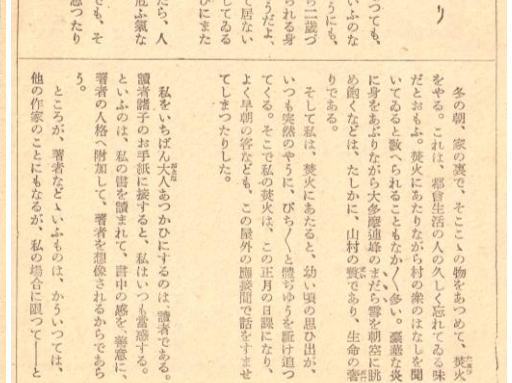
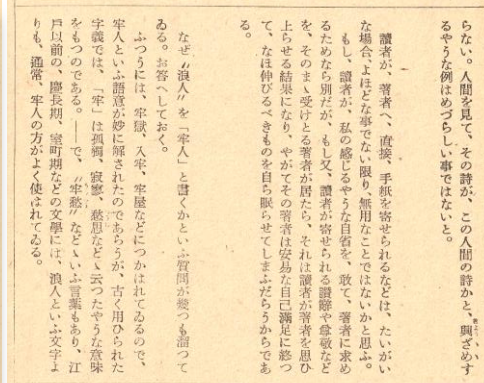
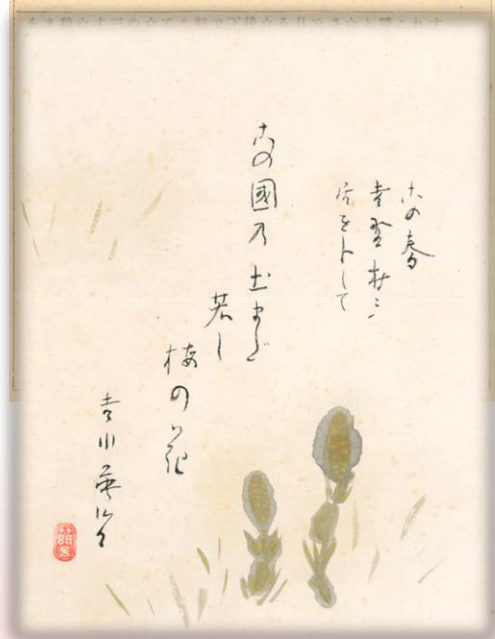
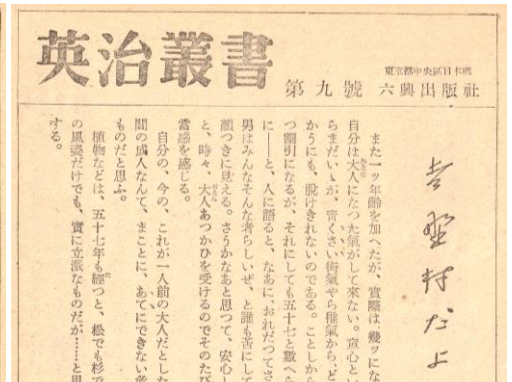
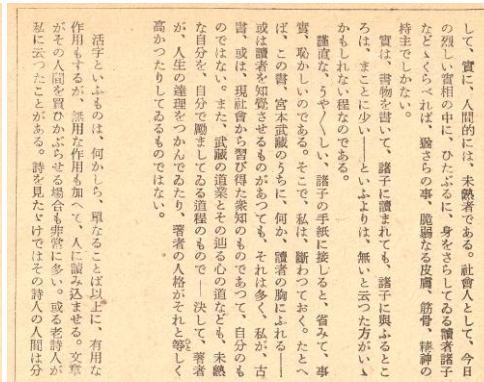
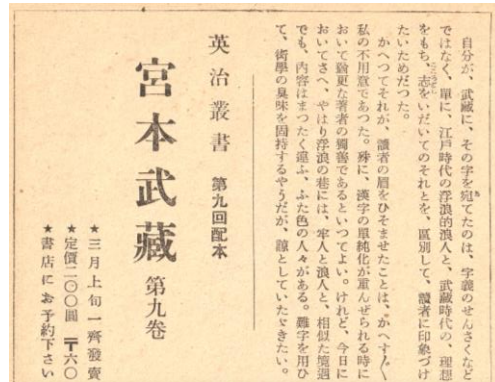
2023年1月4日(水)～3月26日(日)

主催：青梅市・青梅市教育委員会 協賛：青梅信用金庫 会場：青梅市吉川英治記念館



昭和19(1944)年～28(1953)年にかけて、吉野村柚木（現在の青梅市柚木町）に居住していた文豪吉川英治は、「英治叢書」の付録の「吉野村だより」に、彼の随筆や当時の吉野村での生活について記しています。本展示では、「吉野村だより」の直筆原稿を展示するとともに、当時の写真や関連資料によって吉野村での英治の生活を垣間見ます。

吉野村の自宅書斎にて(昭和25年)



英治叢書『吉野村だより 第九号』 六興出版社発行

※表面「宮本武蔵第八巻」の月報『吉野村だより』原稿が、発行時には「第九号」となり誤植と思われる。

色紙 吉川英治 作

写真提供：公益財団法人 吉川英治国民文化振興会

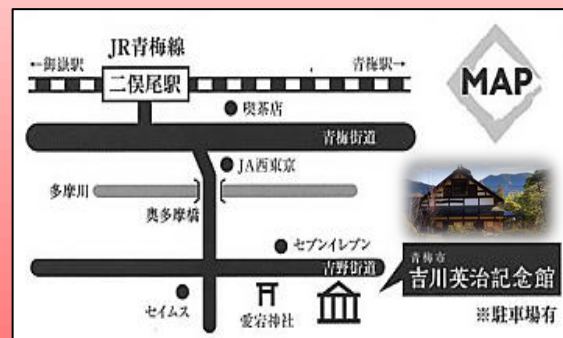


万年橋架設記念碑建立式に出席(昭和22年6月2日)

期間中のイベント

【無料】 二十歳のお祝い企画	2023年1月4日(水)～1月15日(日) 2002(平成14)年4月2日～2003(平成15)年4月1日生まれの方は、上記の期間中、当記念館を無料でご入館いただけます。
【事前申込制】 新春!季節の花生け教室	2023年1月25日(水)10:00～12:30 新春の季節のお花を使った花生け教室に参加してみませんか。 定員10名 参加費3,500円(別途入館料必要)
地域連携事業 『ひな人形展』	2023年2月18日(土)～3月21日(火・祝) 地域の方々などからお借りしたひな人形などを記念館の母屋に展示いたします。
【事前申込制】 谷津矢車氏による講演会	2023年3月18日(土)開場10:00 開演10:30 青梅市出身の歴史小説家 谷津矢車氏をお招きして当記念館母屋にて講演会を開催いたします。 定員25名 参加費無料(別途入館料必要)
【事前申込制】 気軽に楽しむ話芸の世界	2023年3月19日(日)14:00～14:30 地元で活躍中の講談師菊地玉雲氏をお招きして記念館母屋にて開催いたします。 定員20名 参加費無料(別途入館料必要)

※緊急事態宣言等で急きよ中止となる場合がございます。
※新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更が生じる場合があります。
事前にお電話や当館ホームページなどでご確認ください。
※変更があった場合は、事前に当館ホームページなどでお知らせします。
※記念館では入館前の検温、手指消毒、敷地内でのマスク着用をお願いしています。



■JR青梅線「二俣尾駅」下車徒歩約15分

■JR青梅線「青梅駅」下車⇒都営バス梅76系統

「吉野行」乗車⇒「柚木」停留所下車徒歩約1分

青梅市

吉川英治記念館

Yoshikawa Eiji Memorial Museum